

安心安全防災対策について



森 元 秀 一

森元 災害避難所の運営マニュアルの整備はどのようになっているか。また、マンホールトイレの必要性はどう考えているか。

佐藤総務課長 自治体のモデルがあるので、すぐに動けるような形でモデル案を研究している所です。災害時における障がい者、病気の方、1人暮らしの高齢者の方、いわゆる災害時における弱者とも言われる方につきましては、要援護者支援という形で全体計画を策定しております。マンホールトイレの件は、今後下水道課とも話をしながら、いざという時に使えるような形で準備を検討させて頂きたいと思っています。

森元 避難所となる学校・公共施設の防災機能強化についての考えは。

岩下教育部長 耐震化の備えにつきましては国の補助、市の財源、そういった状況を踏まえながら優先順位を決めて、計画的に取り組んでいき

ます。
森元 被災者支援システム導入運用についてお尋ねする。

総務課長 災害が発生した場合、被災者の被害状況や避難先などの基本情報と住民基本台帳のデータを一括して管理できるため、罹災証明書の発行、生活再建に繋がるような形でシステム導入の意見でございますので、十分参考にさせていただきます。

他に「今後の農林畜産業の振興について」、「火災報知器の設置状況について」質問がありました。



阿蘇火山防災訓練風景

防災訓練の実施について



阿 南 善 範

阿南 阿蘇山の防災訓練の実態はどうか。

佐藤総務課長 毎年一回、陸上自衛隊、日赤、県警、消防など関係各団体約4百人体制で、阿蘇山が爆発したとの想定で訓練を実施しています。

阿南 地元住民にも、爆発、水害、地震などを想定した訓練を実施すべきではないのか。

総務課長 阿蘇市全域での訓練は予定していませんが、地域ごとに訓練ができれば、市としても地域と協力して訓練を行っていきたいと考えています。

参勤交代道について

阿南 阿蘇の文化遺産、特に波野地区に残る参勤交代道を活かし、地域活性化を望むが。

岩下教育部長 波野地区の参勤交代道は確認が難しく、文献等で調査する必要がある。

阿南 参勤道は笹倉川の北岸に沿って造られていたようです。河川の整備とともに復元する必要があるのでは。

伊藤建設課長 県管理河川ですので、熊本県に整備してもらうよう要望してまいります。

吉良商工観光課長 参勤交代道を利用して、お客様のウォーキングに活用したいと思っています。

ゴミの不法投棄について

阿南 阿蘇市の数ヶ所で不法投棄が見られるが、その対処は。

橋本市民環境課長 ごみの減量化、リサイクルの推進に努力していますが、依然として不法投棄が行われている現状です。人目につきにくい場所への不法投棄が大半であるため、パトロールを実施しています。不法投棄を発見したら、地権者の方とも話し合い、片付けを行います。



波野笹倉川参勤道

日曜保育について

市原 正



市原 観光業などに従事している市民の方などから、阿蘇市に日曜保育の施設がないかと聞かれるが、その必要性の把握は出来ているのか。また、今後の対応は。

城健康福祉課長 健康福祉課におきましては、子育て家庭の実態と子育て支援ニーズ、更に子育てや少子化に関する意識等を把握し、今後の子育て支援施策の充実を図るため、平成22年度からの5ヶ年計画の阿蘇市次世代育成支援後期計画を策定しております。この計画書づくりのため、平成21年3月に阿蘇市在住の就学前児童及び、小学校児童の全保護者を対象として調査を行い、日曜、祝祭日の必要性の把握を行っております。その結果、日曜、祝祭日に「毎週」と「月に一、二度」利用したい方を合わせると、ほぼ4人に1人の割合で要望が上がっております。土曜保育は、ほぼ2人に1人の要望があり

ます。今後の対応として、策定した行動計画では26年までに1ヶ所、日曜、祝祭日の保育ができるような施設を検討しております。来年度に1園は実施したいというような考えをもっております。しかし、新たな費用負担が行政にも保護者にも発生しますので、今後さらに建設的に検討を重ねていきます。

他に「部制導入に伴う改革の現状と課題について」、「中央病院のヘリポート建設について」質問がありました。



宮地保育園

阿蘇山と観光について

田中 弘子



田中 ガス規制が一ヶ月ほどあったが、宿泊客への影響は。

吉良商工観光課長 5月16日に阿蘇山が噴火しましたが、それ以前も3月11日から続く東日本大震災の影響も受け、宿泊のキャンセルが1万7千人ほどであります。今回の火口立入規制については、震災から続くものであり、規制単独での宿泊客への影響は計れませんが、噴火レベル2となったことにより修学旅行がキャンセルになったような事例が出てきているようです。

佐藤市長 宿泊客の多い内牧地区は、行政としては街角ギャラリー、あそびバ、街路灯事業等に取り組んでまいっております。これまでの活動や新たな方向での活動をやっていけば、これまでとは違った意味で繁盛する地域になると思っております。多くの泉源もあり、地域資源に恵まれている地域でありますので、住民の皆さんと地域づくり、観光づくりに励んでまいります。

内牧小のお茶園について

田中 今後の対応は。

日田教育課長 30年以上前に西湯浦の今村さんから寄贈していただいたものです。当時は児童、保護者、先生方とお茶摘み体験を通して親子のふれあいがありました。また、その収益金についてはPTA会費に充当され、保護者負担の軽減、あるいは学校経費においても役立ってきたそうです。統合小学校の建設時期が明確になってきた段階で、準備委員会の中でお茶園の取り扱いについて各PTA会、校長先生方で協議していただくことになるかと思えます。



内牧小学校の茶摘み風景